

# 思川開発事業監理協議会資料

平成30年3月16日

独立行政法人 水資源機構

# 事業進捗状況(平成30年3月時点※)

※見込みのため、数値が変更となる場合があります。

○ 平成29年度予算額 25.4億円(累計 約912億円※ 進捗率約49%)

※累計額は、平成27年度までは精算額、平成28年度は予算額。

補償基準他	H13.12 損失補償基準妥結・協定書調印				
用地取得(南摩ダム) (372ha)	99%(371ha)				
用地取得(導水路) (3.159ha)区分地上権設定含む	100%(3.159ha)				
家屋移転(80世帯)	100%(80世帯)				
代替地造成	100%(31世帯)				
県道改良(約13.2km)	100%(13.2km)				
付替県道(約6.4km)	72%(4.6km) 77%(4.9km)				
付替林道(約24.4km)	7%(1.6km) 15%(3.7km)				
ダム本体及び関連工事	仮排水路トンネル (H23.3完成)	基礎掘削	ダム本体工	管理設備	試験湛水
導水路、送水路 及び関連工事	黒川取水・放流工 大芦川取水・放流工	黒川導水路 大芦川導水路	南摩注水工	送水路	南摩機場

完成 契約 ----- 付替県道      完成 契約 ----- 県道改良

完成：工事が完成した道路延長比(未供用を含む。舗装、付帯設備の未施工を含む)  
契約：工事を契約した道路延長比

# 工事実施状況

④ 付替県道5号橋工事 (H29.12竣工)



③ 付替県道6号橋工事 (H23.10竣工)



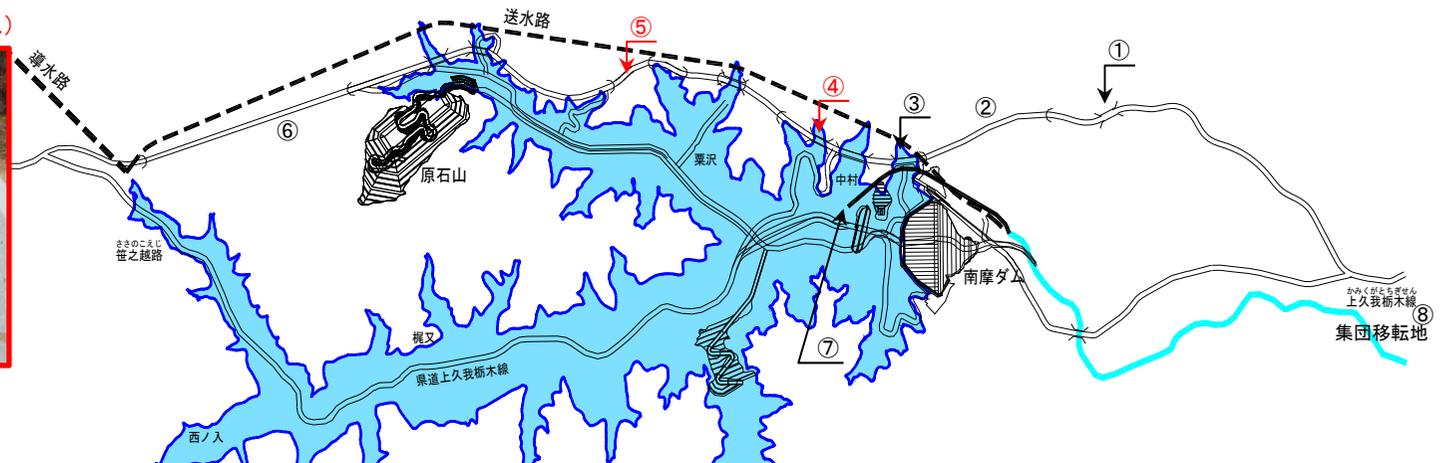
② 付替県道4号トンネル工事 (H28.3竣工)



① 付替県道7号橋工事 (H25.8竣工)



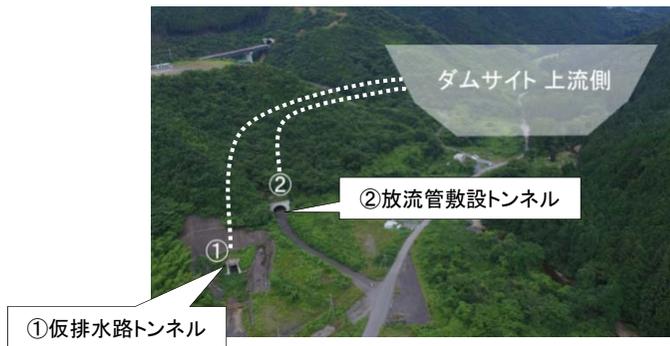
⑤ 付替県道2号トンネル工事 (H29.12竣工)



⑥ 付替県道1号トンネル工事 (H24.8竣工)



⑦ 仮排水・放流管敷設トンネル呑口 (上流側坑口) (H23.3 竣工)



⑧ 集団移転地





# H29年度実施概要

項目	主な内容
工 事	板荷引田(松坂)トンネル付帯設備等工事(栃木県委託)
	付替県道工事 5号橋上部工工事、2号トンネル工事、粟沢7工区その2工事 等
	付替林道工事 和田6工区他工事、西ノ入1工区他工事、笹之越路4工区他工事 等
業務等	地質調査、水理水文調査、環境調査、用地補償 等

## (1) 工 事

### 1) 板荷引田(松坂)トンネル付帯設備等工事 (栃木県委託)

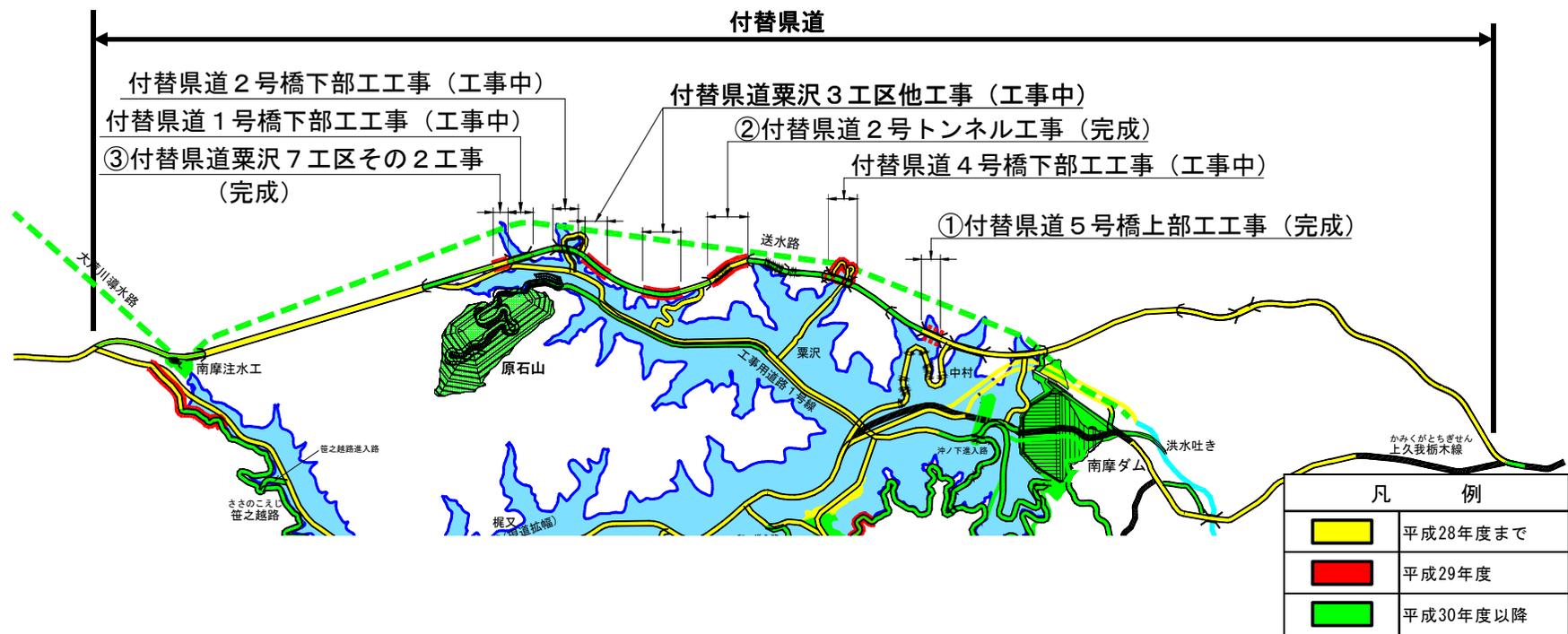


完成 (板荷側)  
(平成29年11月)



完成 (引田側)  
(平成29年11月)

## 2) 付替県道工事



③「付替粟沢7工区その2工事」



完成  
(平成29年12月)

②「付替県道2号トンネル工事」



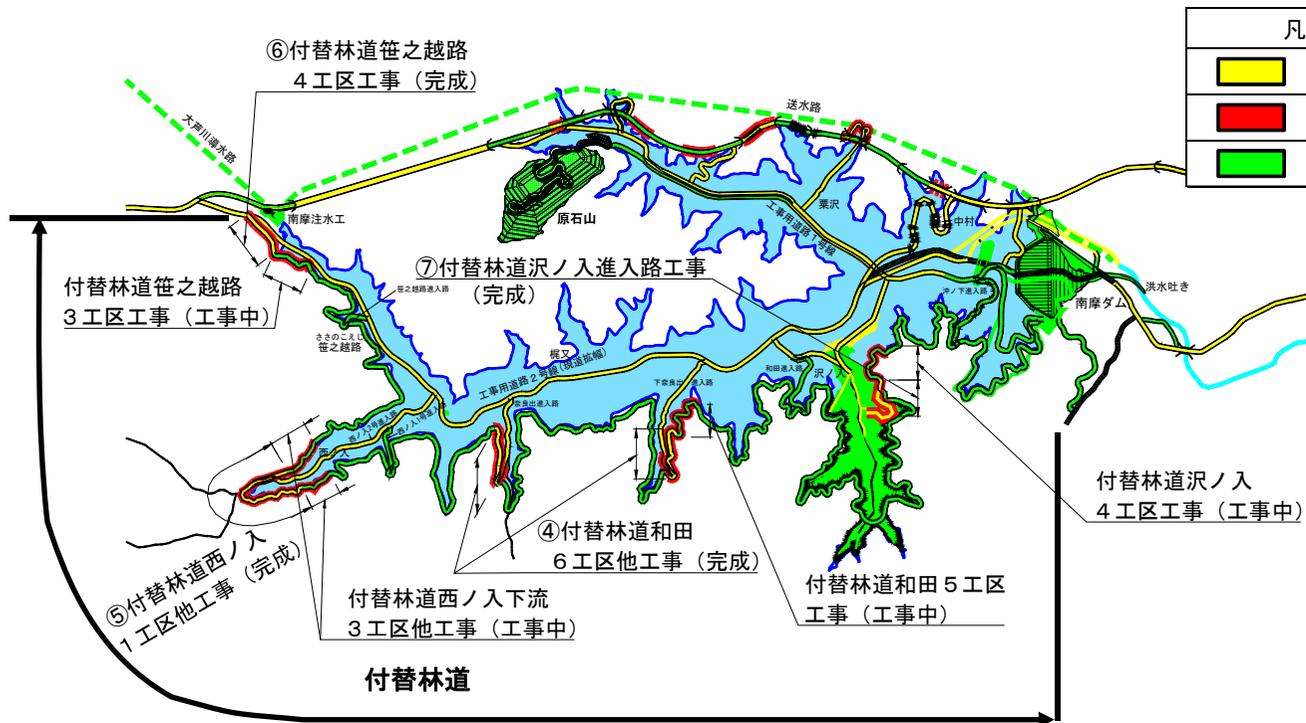
完成  
(平成29年12月)

①「付替県道5号橋上部工工事」



完成  
(平成29年12月)

### 3) 付替林道工事



凡 例	
黄色	平成28年度まで
赤色	平成29年度
緑色	平成30年度以降

⑦「付替林道沢ノ入進入路工事」



完成  
(平成30年3月)

⑥「付替林道笹之越路4工区工事」



完成  
(平成30年3月)

⑤「付替林道西ノ入1工区他工事」



完成  
(平成30年3月)

④「付替林道和田6工区他工事」



完成  
(平成30年3月)

## (2) 業務等

### ①流量観測

・ダム・導水路計画に必要な水文データ蓄積のために河川の水位・流量観測を行い、河川流況の基礎資料を収集するもの。



流量観測状況



### ②地下水位等観測

・ダム本体工事、導水路工事に伴う地下水(井戸水)・沢水等への影響を検討するための基礎資料を収集するもの。



地下水位  
観測状況



沢水観測  
状況

### ③自然環境調査（貯水池内）

・思川開発事業の事業区域およびその周辺を対象として、動植物調査を継続的に実施することにより、自然環境への影響把握を行うとともに、付替県道工事などに対する環境保全対策の検討・立案のために必要な調査を行うもの。



猛禽類調査状況



植物調査状況

### ④貯水池ボーリング調査等

・貯水池周辺法面のボーリング調査を実施するとともに、地質解析を実施するもの。



ボーリング  
調査状況



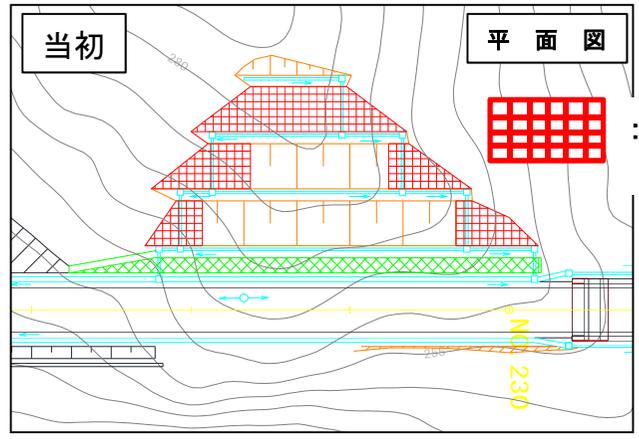
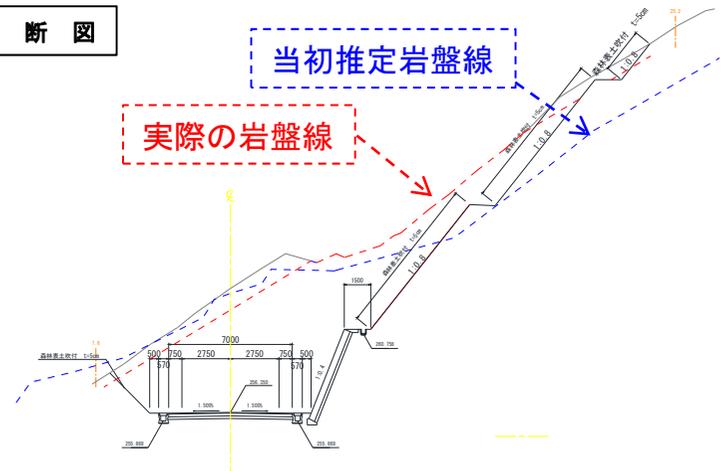
**工事①【コスト減】付替県道工事の法面对策変更による縮減について**

コスト減・・・法面对策の変更による減  
(18百万円 減)

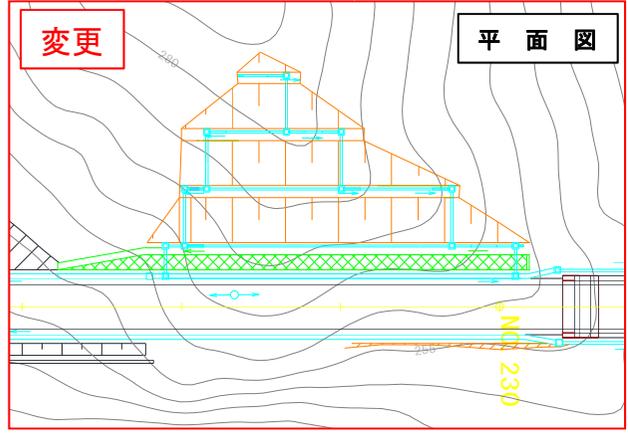
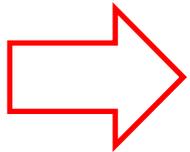
工事名：付替県道栗沢7工区その2工事

- ・地山掘削した結果、想定した地質との相違が見られ、その地質条件に合わせて法面对策を吹付法枠工から植生工に見直しコスト縮減を図った。

横断図



吹付法枠範囲  
(枠内植生)



変更



当初) 施工例  
吹付法枠



変更)  
植生工



地山掘削状況

当初吹付法枠範囲

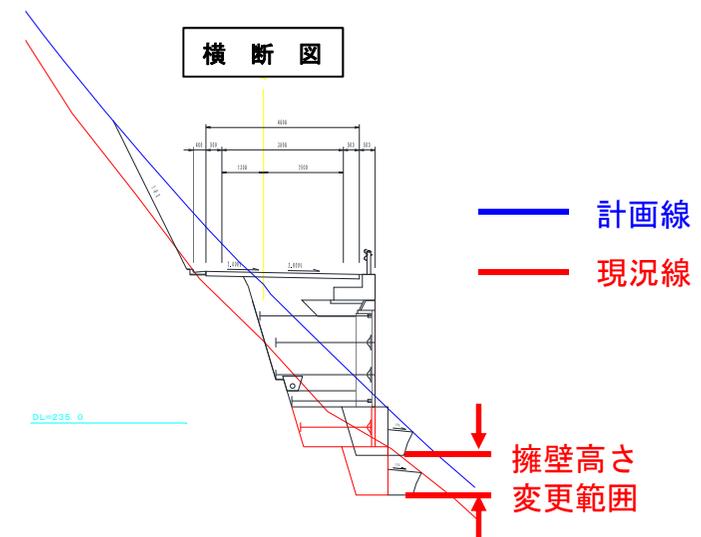
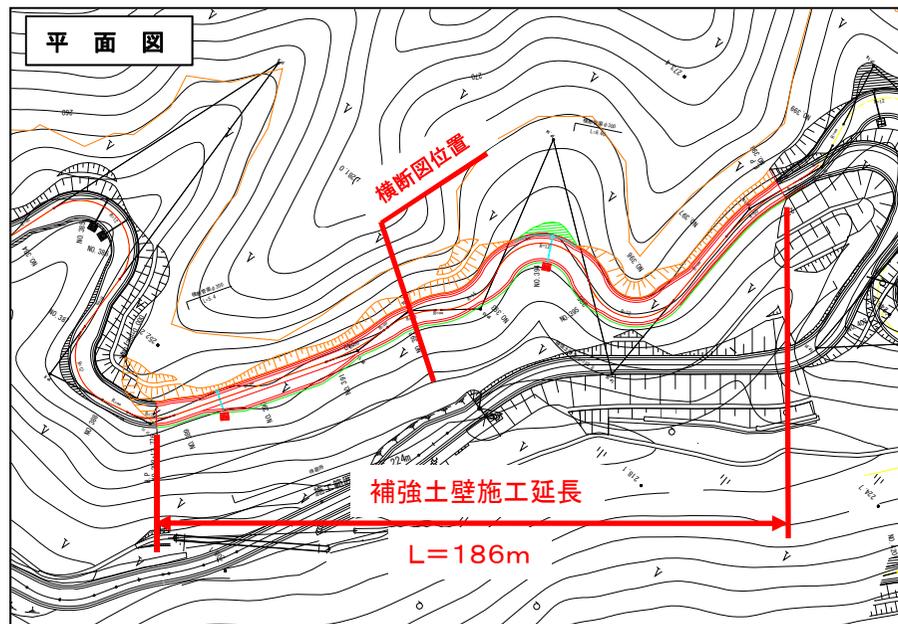
## 工事②【コスト増】付替林道工事の擁壁高さ変更による増について

コスト増・・・補強土壁の擁壁高さ変更による増  
(22百万円 増)

工事名：付替林道和田6工区他工事

- ・補強土壁の施工において、岩盤線が想定よりも深かったため、擁壁高さを変更となりコスト増となった。

擁壁基礎部床付状況



# 工事③【コスト減】付替林道工事の線形変更による縮減について

コスト減・・・道路線形変更による減  
(13百万円 減)

工事名：付替林道西ノ入1工区他工事

- ・ 事前測量の結果、設計の地山線と現況の地山線との違いが判明した。当初線形のままで新たに擁壁が必要となるため、道路線形を見直すことで擁壁施工を取り止め、コスト縮減を図った。

